

次期「緑の基本計画」について

説明資料

<2026.3.2 第22回 京都市都市緑化審議会>

配布資料一覧

別紙1 市民意見募集の結果

別紙2 答申案

別紙3 素案からの修正点一覧

目次

スケジュール

パブリック・コメント結果

別紙1

いただいたご意見とご意見に対する考え

答申案【修正箇所等の最終確認】

別紙2

別紙3

鳥瞰図の追加アングル

「将来の姿」- 作品に込めた思い

部会意見への対応

スケジュール

前年度

審議会3回、部会4回を開催し、素案の全体像までの審議を完了

2025(R7)年度

2025.9.1 審議会
素案の審議

2025.06.02

部会⑤ 素案(前半)の審議等

済

2025.07.22

部会⑥ 素案の審議

済

2025.11.10
素案の審議

2025.10.02

部会⑦ 素案の審議

済

京都基本構想
策定

2026.3.2 審議会
答申案の審議

2026.01.06-02.10

市民意見(パブリックコメント)の募集

済

2026.02.20

部会⑧(最終) 市民意見を反映した答申案の審議

済

本日

2026.4 計画策定

次年度

パブリック・コメント結果

実施概要

- 期間：令和8年1月6日(火)～2月10日(火) ※36日間
- 公表資料：意見募集冊子(A4判12ページ)、次期計画案

*周知方法

1. 市役所庁舎案内所、各区役所・支所・出張所、各土木みどり事務所及び指定管理公園における意見募集冊子の配架
2. 京都市ホームページへの掲載
3. 市民しんぶん2月1日号への掲載
4. 「みっけ隊」アプリへの掲載
5. 公園愛護協力会、街路樹サポーター等のボランティア団体への周知はがきの送付
6. 審議会・部会委員や視察先事業者等を介した関係者への周知



意見募集冊子

結果概要

意見者数:156人 / 意見総数:416件 … 詳細は 別紙1 のとおり

■ 第3章 みどりの展望「鳥瞰図」

部会でのご意見

- ✓ 追加されたアングルの鳥瞰図について、補足のキャプションがあると、京都に詳しくない方にもより伝わりやすくなる。



東西南北の各アングルについて、キャプションを追加

■ 広域スケール



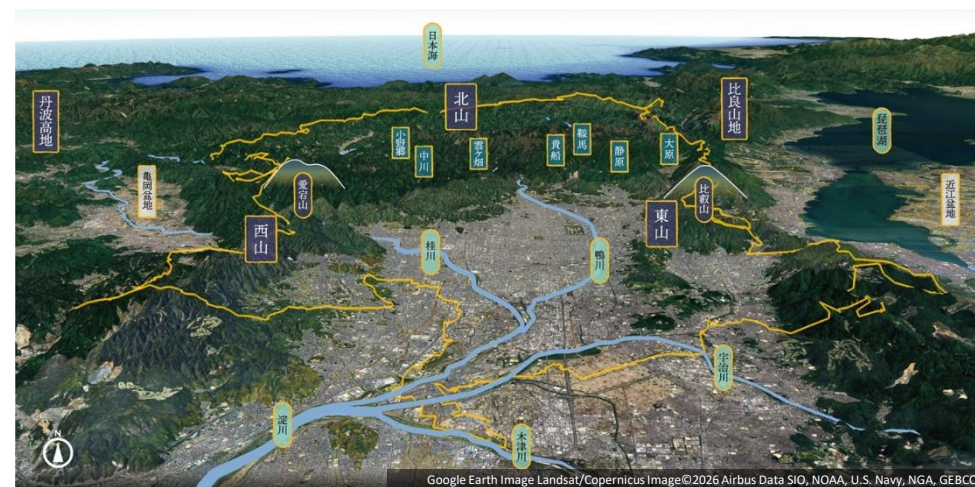
東向き 西山の連なりを中心に見た市域のみどり



西向き 東山の連なりを中心に見た市域のみどり



南向き 北山の連なりを中心に見た市域のみどり



北向き 市南部に広がる農地と三川の合流を中心に見た市域のみどり

■ 市街地スケール



東向き 東山の連なりを背景とした市街地に息づくみどり



西向き 西山の連なりを背景とした市街地に息づくみどり



南向き 広大な農地や三川の合流とともに市街地に息づくみどり



北向き 北山の連なりを背景とした市街地に息づくみどり

■ 第3章 みどりの展望「将来の姿」／資料編

部会でのご意見

✓ 作家が作品に込めた思いや制作上の工夫等が分かると良い



7名の作家への取材を行い、「作品に込めた思い」を資料編に追加

資料編

作品に込めた思い

16の「将来の姿」

1



案

様々な人が集い、それぞれの時間を過ごす鴨川の風景。広く大らかで空気の澄んだ田舎の風景。よく知る京都らしさを思いながら描いた。新絵具の質感や重なりを活かした。みどりの表現にこだわった。京都の身近なみどりの豊かさを、改めて感じてもらえたら嬉しい。

—北川 咲



みどりのスケッチや写真の撮影を通じて制作を行った。京都市がみどりを意識して大切にしていることを知った。繊細に描いた日本画であるこの作品では、みどりだけでなく、大人や子どもから散歩している犬まで描いた。色々な世代のあらゆる方々に作品を見てもらいたい。

—倉田 徹郎



晴れた秋の日、春の夜、秋の夕暮れ。その時々空の気感をイメージしながら描いた。京都では多く人が訪れる場所のみどりがあること。自然と共に成り立っていることを実感した。この絵を見た人が、この場所の風度や温度や香りを想像したり、京都のみどりを訪れてみたいと思ってもらえたら嬉しい。

—森 夕香

98

資料編

作品に込めた思い

16の「将来の姿」

1



自身の筆風を活かしながら、都会ならではのみどりが人々の生活の中に溶け込んでいる様を描いた。みどりの魅力を表現するために、空の広がりや夏らしい青さを意識した。雲や建物などの白の色にもこだわり、みどりを引き立たせた。京都は自然が美しい。そして、そこに歴史や都市がある。その魅力を改めて感じた。

—濱口 佳代



みどりが豊かな暮らしの中で、人と人のコミュニケーションに焦点を当てて描いた。空の広さも京都の魅力のひとつであり、それを余白の中で表現している。あわせて、イラスト表現ならではの愛らしさを、どのように画面に落とし込むかにも注力した。京都は、みどりとともに生活する癒しのまち。この作品を通して、京都で育んだ時間を振り返り生きかきかにならばと考えている。

—福田 マリー



実際に公園にまで足を運び、みどりの楽しさを影まですりそうに描くことで表現した。作品はランダムに選んだ10色の色鉛筆を用いて描いたもの。影には10色すべてを使い、花や雲で夏の季節を表現した。京都が山に囲まれていることや、みどりが憩いの場になっていることを改めて感じた。この作品を通じて、記憶の中にあるみどりの風景を思い出してもらえたら嬉しい。

—吾郷 佳奈



春らしい季節の光や明るさを大切に。花の色は太陽のもとで実際に目に届く鮮やかな色を表現した。水彩は赤青黄の三原色から色を作り、色が混ざり変化する様子を観察しながら、沢山の緑色を描いた。制作を通じて、花が咲いている季節だけでなく、咲いていない季節でも人による丁寧な手入れがなされていることを知った。たくさんの人の手で育てられたみどりの楽しさや魅力を改めて感じてもらえたら嬉しい。

—高木 智子

99

■ 「はじめに」

部会でのご意見

- ✓ 本計画の「市民を巻き込み、みんなで取り組む」という姿勢を、計画の冒頭でより丁寧に記載してはどうか。



「はじめに」(p3)の記載を充実

本計画には、「京都に関わるすべてのみなさまと、京都の魅力的なみどりを共有して、協力しながら一緒に理念の実現に取り組んでいく計画にしたい」との思いを込めています。

計画全体を通じては、硬い行政用語や専門的な用語はできる限り使用せず、写真、図及び絵画を積極的かつ効果的に使用することで、より多くの方々に興味や理解、共感を持って読み進めていただけるような誌面を目指しました。

■ 第7章 みどりの取組「おすすめACTION」

部会でのご意見

- ✓ 写真や図を見ることができない視覚障害者の方に向けて、聴覚や嗅覚に訴えかけるような、「五感で感じるみどり」の情報も盛り込んではいかがでしょうか。



おすすめACTIONの項目を、五感に対応するよう充実

- 【視覚】 サクラ並木や秋の紅葉を見に出かける(街路樹)
- 【聴覚】 鳴く虫の声に耳を澄ます(草地)
- 【味覚】 京の旬野菜を味わう(林業地／農地)
- 【触覚】 社寺林の厳かな空気に触れる(社寺林) 他
- 【嗅覚】 早春の梅など、四季折々の花の香りを楽しむ(公園) *追加

資料は以上となります。